

この教科書が準拠している『ヨーロッパ言語共通参照枠』とは、ヨーロッパで取り入れられている、言語学習の到達度を測るための枠組みです。その中の基礎段階（A1・A2 レベル）では、次のようなことができるようになることを目指しています。（以下、吉島茂他訳・編（2004）『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社より抜粋引用）

A1 レベル

具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。

自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。

もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

A2 レベル

ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。

簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。

自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。

また、『ヨーロッパ言語共通参照枠』の基礎段階では、自分の言語能力「～ができる」を自己評価する際、「理解すること」（聞くこと、読むこと）、「話すこと」（やりとり、表現）、「書くこと」について、以下のような目安を挙げています。

教科書を学習し終わったら、A1段階で求められていることがどの程度できるようになったか、また、次のステップA2では、どのような能力が期待されているかを確認しましょう。

		A1	A2
理解すること	聞くこと	はっきりとゆっくりと話してもらえれば、自分、家族、すぐ周りの具体的なものに関する聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	（ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、近所、仕事などの）直接自分につながるのある領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。 短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取れる。
	読むこと	例えば、掲示やポスター、カタログの中をよく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストなら理解できる。広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、予定表のようなものの中から日常の単純な具体的に予測がつく情報を取り出せる。 簡単で短い個人的な手紙は理解できる。
話すこと	やり取り	相手がゆっくり話し、繰り返したり、言い換えたりしてくれて、また自分が言いたいことを表現するのに助け船を出してくれるなら、簡単なやり取りをすることができる。 直接必要なことやごく身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。	単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合いができる。 通常は会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。
	表現	どこに住んでいるか、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職歴を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。

書くこと	書く 新年の挨拶など短い簡単な葉書を書くことができる。 例えばホテルの宿帳に名前、国籍や住所といった個人のデータを書き込むことができる。	直接必要のある領域での事柄なら簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。 短い個人的な手紙なら書くことができる：例えば礼状など。
------	--	---

この教科書はA1に到達するために、聞く活動・読む活動・話す活動・書く活動で、とくに次のことができるようになることを目指しています。確認したらしましょう。

【聞く活動】

包括的な聴解	
A1	意味がとれるように長い区切りをおいて、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
発表や指示を聞く	
A1	当人に向かって、丁寧にゆっくりと話された指示なら理解できる。短い簡単な説明なら理解できる。

【読む活動】

包括的な読解	
A1	非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。

【話す活動】

総合的な口頭発話	
A1	人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。

【書く活動】

総合的な書く活動	
A1	簡単な表現や文を単独に書くことができる
創作	
A1	自分自身や想像上の人々について、どこに住んでいるか、何をする人なのかについて、簡単な句や文を書くことができる

【相互行為活動】 口頭でのやりとり

会話	
A1	<p>紹介や基本的な挨拶、いとま乞いの表現を使うことができる。</p> <p>人が元気かどうかを聞き、ニュースに反応することができる。</p> <p>こちらの事情に理解を示してくれる話し手によって、はっきりとゆっくりと、繰り返しを交えながら、自分に直接向けられた発話ならば、具体的で単純な必要性を満たすための日常的な表現は理解できる。</p>

情報の交換	
A1	<p>自分に向けられた、注意深く、ゆっくり表現された質問や説明が理解できる。短い簡潔な指示を理解できる。簡単な質問を聞いたり、答えたりすることができる。直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応できる。</p> <p>自分自身や他人に関して、住まい、知人、所有物などについて質問を受けたり、答えたりすることができる。「来週、前の金曜日、11月には、3時」などの表現を用いて時を知らせることができる。</p>

【相互行為活動】 文字でのやり取り

通信	
A1	<p>短い簡単な葉書を書くことができる。</p>

記録、メッセージ、書式	
A1	<p>ホテルの予約用紙などに、数、日付、自分の名前、国籍、住所、年、生年月日、入国日などを書くことができる。</p>